砕石及び砂利の出荷基準（案）

1. 対象製品

砕石及び砂利（真砂土及び砂を含む）を対象とする。

2. 対象地域

当面の間、福島県内の浜通り及び中通りの地域にある採石場及び砂利採取場を対象とする。

3. 作業手順

対象製品を製造し出荷する事業者は、製品の放射線量を低減化させるため、操業を再開する際や、出荷停止後に出荷を再開する際は、以下の作業を行うこととする。

- ・ストックヤード、プラント、重機、車両等を可能な限り除染する。
- ・平成 23 年 4 月以降に採取していない場所については表層を少なくとも 5cm 以上除去した上で岩石を採取するなど、適切な措置を講ずる。

4. 暫定基準値

対象製品を製造し出荷する事業者は、当面の間、定期的に複数箇所の代表的な製品をサンプル測定し、放射性セシウム平均濃度（Cs134 及び Cs137 の合計値）が 100Bq/kg 以下であれば出荷可能とする。

ただし、対象地域における道路、河川等の屋外の公共工事に使用される製品については、当面の間、定期的に複数箇所の代表的な製品をサンプル測定し、表面線量率が 0.23 μ Sv/h 以下であれば出荷可能とする。

なお、継続して基準値を下回る場合は、測定頻度を下げることができる。

5. 細則

上記に定める事項のほか、必要に応じ基準の細則を定める。